

ムギラン

Bulbophyllum inconspicuum Maxim.

ラン科

絶滅危惧 I 類

国カテゴリー

準絶滅危惧

選定理由

全国的にも絶滅の危機に瀕しているが、もともと本県ではきわめて稀産の植物で、従来から産地は2箇所のみが知られている。(現況:RO)

形態

本県のマメヅタラン属ではただ一つの種類で、匍匐する細い根茎上に卵形の偽球茎が着き、葉は卵円形で、その上に1個のみが着く。偽球茎と葉の間に関節があり、脱落のさいには、葉はここで分離する。花茎は偽球形の基部より出て、帯黄白色の小花を1個着ける。

国内分布

東北(太平洋側)以西の本州、四国、九州。

県内分布

南加賀区、外浦区。

生態など

照葉樹林の樹上や岩上に着生する多年生草本。開花期は6~7月。

生育環境

積雪を免れることのできる岩上または樹上。

危険要因

土地造成、道路工事、自然遷移、産地局限。



本多郁夫・2009年6月4日・外浦

分布図はありません。